

(1)「タスク・シフティングの更なる充実のために」
岡留 健一郎(社会福祉法人恩賜財団福岡県
済生会福岡総合病院名誉院長)

(2)「タスク・シフティングを含めた医師の業務負担軽減」
登谷大修(社会福祉法人恩賜財団済生会支部
福井県済生会病院院長)

(3)「病院における看護補助者の確保および活用：
実態調査結果から」
佐々木美奈子(東京医療保健大学医療保健学部
看護学科教授)

(4)「医師の働き方改革とタスク・シフト/シェア」
秋山智弥(公益社団法人日本看護協会副会長)

(5)「救急医療情報を継目なく繋ぎ筋うために」
森村尚登(東京大学大学院医学系研究科外科学
専攻生体管理医学講座救急科学分野教授)

10月7日(水) 12:50~14:50 D会場

9.「地域包括ケアとりハビリテーション医療」

座長：才藤栄一(藤田医科大学学長)
清水 鴻一郎(一般社団法人京都私立病院協会
会長/京都清水メディケアシステム会長)

- (1)「地域包括ケアと地域リハビリテーションと
リハビリテーション医療」
石川 誠(医療法人社団輝生会会長)
- (2)「地域包括ケアと先端テクノロジー」
大高洋平(藤田医科大学医学部リハビリテーション
医学I講座教授)

10月7日(水) 9:30~11:30 E会場

10.「ビッグデータとICTが変える病院医療」

座長：神野正博(社会医療法人財団董仙会恵寿総合
病院理事長)
森本泰介(地方独立行政法人京都市立病院
機構京都市立病院名誉院長)

- (1)「ICT導入によって変わる病院の使命、医師の使命」
森 桂(厚生労働省医政局研究開発振興課医療
情報化推進室室長)
- (2)「人とAIが共存する健康医療社会と病院の役割
～微分の医療から積分の医療へ～」
水野正明(名古屋大学医学部附属病院先端医療
開発部先端医療・臨床研究支援センター長)
- (3)「医療を持続可能なものにするために～未来
の病院をデザインする」

神野正博(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
理事長)

10月7日(水) 12:50~14:50 E会場

11.「チーム医療を支える医師事務作業補助者の生涯
教育について考える」

座長：中村雅彦(松本市立病院院長)
和田卓郎(社会福祉法人恩賜財団済生会
小樽病院院長)

- (1)「医師事務作業補助者のキャリアデザインを考慮
した生涯教育の重要性」
小林利彦(浜松医科大学医学部附属病院医療
福祉支援センターセンター長)
- (2)「医療秘書・医師事務作業補助者の生涯教育に
むけた大学教育の取り組み」
山本智子(川崎医療福祉大学医療福祉マネジ
メント学部医療秘書学科学科長(教授))
- (3)「キャリアパスモデルの構築と普及の取り組み
から人材育成を考える」
南木由美(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院教育
研究センター/NPO法人日本医師事務作業補助
研究会副理事長)

10月7日(水) 9:30~11:30 G会場

12.「医療福祉連携士制度の10年を振り返って、現状
と課題及び将来展望」

座長：大久保 一郎(横浜市衛生研究所長/医療福祉
連携士認定委員会委員長/筑波大学名誉教授)
中村起也(広南病院神経内科)

- (1)基調講演
「医療介護連携政策の最近の動き」
長江翔平(厚生労働省老健局老人保健課課長補佐)
- (2)「制度を運営する立場から」
大久保 一郎(横浜市衛生研究所長/医療福祉連携士
認定委員会委員長/筑波大学名誉教授)
- (3)「医療福祉連携士からの視点」
下村 裕見子(北里大学大学院医療系研究科臨床
医科学群精神科学/北里大学医学部精神科学/
医療福祉連携士)
- (4)「“地域医療の未来図”へ向けて急性期病院院長
の役割」
佐藤四三(姫路赤十字病院院長)
- (5)「福祉関係者からの視点」